

令和3年度 佐久市総合計画審議会第3部会（第4回） 会議録

日時：令和3年10月28日（木）

午後2時00分～

場所：中込会館 2階会議室4

【出席者】木次部会長、安原副部会長、土屋委員、井出委員、小林委員、臼田委員、沖津委員、依田委員

以上8名

【事務局】若林企画課長、木下企画調整係長、金澤主任、小林主任

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（岩田委員、藤牧委員、雨宮委員、山崎委員）

2 議事

（1）第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について（部会報告、答申（案））

質疑、意見

事務局	第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理（部会報告、答申（案））について説明 —質疑、意見等なし—
-----	--

（2）第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案について

質疑、意見

事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案「健康増進」について説明 —質疑、意見等なし—
-----	--

事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《保健活動》について説明
委員	P61（2）について、新型コロナの問題は佐久市だけの問題ではないが、今後市としてどういう対策をしていくのか。担当課は今回の経験を活かして、後期計画に実施できる形にしてほしい。
事務局	しっかり計画案に反映したい。
委員	この施策全体は、市民生活に直結しており市民に広く知ってもらうことが非常に大事だと思う。大事な項目がたくさんある。広報紙の一部を使って、例えば、保健補導員の活動の紹介をシリーズ化して特集を組んでいったらどうか。それが何かあったときにどこに相談すればいいかの目安になる。
事務局	広報の担当課へ伝えたい。
委員	市のHPは、若い人やインターネットに慣れている人は検索するのは簡単だが、市民の大半の人は見ていないと思う。見ても知りたい情報になかなかたどりつけない。
委員	保健補導員について、会社勤めをしている人は出来なかつたりするなど、なり手不足で、同じ人で役を回しているだけになっている。どうやったら役目を果たせるかというのは、もう少しやり方を考えたほうがいい。私の区では福祉ネットワークもあり、それとの棲み分けもできていない。保健補導員は女性に限定していないので、男性もぜひ参加してほしい。
事務局	できるだけ男女差がなくなるように取り組んでいる。保健補導員のなり手不足は担当課でも認識している。またご意見あればいただきたい。
委員	コロナ予防対策について、祖父母参観に行ったら廊下の窓も開けっぱなしで暖房も入っていないので寒かった。アルコールもあちこちに置いてあった。10歳未満はワクチン接種もできないので、徹底的に対策していることを知った。

事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《医療》について説明
委員	新型コロナについて、東信は病床占有率が継続して高いとテレビで報道していた。この原因は何か。地域の感染者が多かったように思えず、病床がそもそも少ないのか、他の地域からの入院患者が多かったのかなど憶測している。佐久の病院の病床占有率が高いのはなぜか分析、解明していただきたい。
事務局	所管課に分析させたい。
委員	P63（1）2 つ目について、相互の医療分担とあるがどういう医療が役立っているのか。どんな体制になっているから都会の人がよいと思うのか分析をして、何をブラッシュアップするのか、十分協議してほしい。最終的には市民に広報して行ってほしい。
事務局	しっかり発信していけるようにしたい。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《医療保険・国民年金》について説明
	—質疑、意見等なし—
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《地域福祉》について説明
委員	佐久市のシニアクラブ連合会の事務局は、社会福祉協議会に担当してもらっている。高齢者福祉課と社会福祉協議会が地域福祉の両輪だと思うが、社協のウェイトが高い。しかし、人材不足で担当する職員が少ない。社協に丸投げではなく、本当の意味で連携してほしい。「連携」とあるが、人材面、財政面からバックアップしてほしい。
事務局	見て頂いている中で気づいた点があればおっしゃっていただきたい。

委員	<p>災害時における高齢者、障がい者、病人等を助けるネットワーク作りを市も進めているようだが、なかなか市民に浸透していない。いざという時に、市の職員や社協の職員を待っているという段階ではない。それぞれが互いに助け合う地域作りをしていかなければいけないと思う。ネットワーク作りを具体的に地域ごとにさらに進めていってほしい。</p>
事務局	<p>個別でも、全体でもできるようにご指導いただきたい。</p>
事務局	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《介護・高齢者福祉》について説明</p>
委員	<p>高齢化に伴って、老人パワーが必要になってきている。老人クラブからシニアクラブへ名称を変更したが、元気なお年寄のためにシニアクラブがある。佐久市には現在 49 のシニアクラブがあり、会員が約 3000 人いる。5 年前には 60 のクラブがあり、約 4000 人会員がいた。5 年間で減少して、70 歳代の入会者が少なくなってきている。課題としては、シニアクラブの活動内容が周知されていない。現在、市のあて職が 15 ほどある。シニアクラブを地元で作ってほしい。行政にも組織化を協力してほしい。</p>
事務局	<p>これから対策をしっかりしていきたい。</p>
委員	<p>コロナ禍で生き生きサロンでのお茶飲み会ができない。保健師、栄養士、理学療法士、薬剤師が来て色々話をしてくれている。ミニ講話をしてもらっているが、コロナ禍だからこそできた活動。これからサロンが再開されていくと思うが、全市的にこういう活動ができればよい。</p>
委員	<p>サロンでもやっているし、シニアクラブでも同じことをやっている。連携して共同開催のようにタイアップしてやっていければいい。</p>
委員	<p>私は区長を初めてやっているの、生き生きサロンがどういうものなのかわからない。どういう所に連絡すればいいのか。</p>

委員	社会福祉協議会が窓口になっている。
委員	補助金も出る。高齢者にとっては結構利用しやすい。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《障がい者福祉》について説明
委員	P71（3）2つ目について、B型事業所の就労賃金が県平均1.5万のところを、ある事業所ではその3倍の賃金を得ているところがある。移転整備だけではもったいない。やっている内容の社会参加をもっと強めて、社会参加ができる方向性へもって行ってほしい。
事務局	しっかり担当課へ伝えたい。
委員	知っている範囲でお答えすると、A型は市内に1箇所、B型は6箇所くらいある。共同作業センターは2箇所。1ヶ月働いても6～7000円位にしかならない。賃金以前の問題として障がい者を引き受けてくれる施設（組織）が必要。
委員	ストーブの薪ステーションをやっている施設がある。自分たちの組織の中で賃金を上げる活動をしている事例を紹介した。
委員	障がい者の高齢化が進んでおり、その人達が充実した生活を送れているかが疑問。P71（1）1つ目に「自分らしい生活を送れるように」と記載があるが、そういう人達のためにもしっかり体制整備をしてほしい。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《ひとり親家庭・低所得者福祉》について説明
	—質疑、意見等なし—
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《少子化対策・母子保健》について説明

	—質疑、意見等なし—
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《子育て支援・児童福祉》について説明
委員	骨子案 P74～77 の内容と総合戦略の基本目標 3 との整合性がよくわからない。総合戦略に記載されている内容が総合計画に入ってくるべきだと思うが、骨子案を確認するとフィットしている感じがしない。「子育てのトップランナー」とあるが、施策にはその具体的な内容が記載されていない。再点検してほしい。
事務局	総合戦略のほうがより具体的に記載されているはず。もう一度内容を精査したい。

(3) その他

質疑、意見

部会長	その他について、事務局から何かあるか。
事務局	次回開催は、11月4日（木）14時00分からの予定。

3 閉会